

2024 年度

筑波大学情報学群情報科学類

卒業研究論文

題目

並列ファイルシステムのための効率的な
システムコールフックライブラリの設計と評価

主専攻 情報システム主専攻

著者 宮内 遥楓

指導教員 建部 修見

要 旨

この文書は筑波大学情報学群情報科学類の卒業研究論文のサンプルである。このファイルを書き換えて、このサンプルと同様の書式の論文を \LaTeX を使って作成できる。

このサンプルは、学生が論文を作成する手間を軽減するために提供している。このサンプルで示す書式はあくまで例であり、要項に準拠していれば、このファイルを使わずに自分で決めた書式を用いてもよい。

目 次

第 1 章	序論	1
第 2 章	形式	2
2.1	表紙	2
2.2	本体	2
	謝辞	4
	参考文献	5

图 目 次

第1章 序論

論文は序論で開始し、最終章は結論で終える。序論には論文全体の見通し・何が研究の要点であるか・何に焦点を当てて研究を行うか等、この章を読めば論文の分野・内容が大筋で掴めるように書く。

研究の内容や分野によっては書き方が異なる場合もあるので、詳しいことは指導教員に聞くとよい。この文書は主にスタイルの作成方法と、論文の体裁を示すのみであり、どうやったらよい論文になるかの示唆は含まれていない。

第2章 形式

ここでは、論文の表紙および本体の記述方法について述べる。

2.1 表紙

表紙は、以下の各項目に相当する文字列を記述した上で、`\maketitle`により作成する。

題目: 題目は`\title`に記述する。行替えを行う場合には`\\`を入力する。ただし、題目の最後に`\\`を入力するとコンパイルが通らなくなるので注意する。なお、題目が複数行に渡るなどの理由により表紙ページがあふれた場合にはスタイルファイルを変更する必要がある。

著者名: 著者名は`\author`に記述する。

指導教員名: 指導教員名は`\advisor`に記述する。2名以上の場合には複数名を記述する。

主専攻名: 主専攻名は`\majorfield`に記述する。「○○主専攻」という形式にすること。

年度: 年度は`\fiscalyear`に記述する。年度は提出時のものを記述すること。

2.2 本体

本体は1段組で記述する。

図表には番号と説明(caption)を付け、文章中で参照する。表2.1は表の例である。表の説明は表の上に、図の説明は図の下に書くことが多い。図の挿入に用いる \LaTeX のパッケージについては使用環境に合わせて自由に選択してほしい。

表 2.1: 表の例

年度	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
2016	85	92	86	88
2017	83	89	90	102
2018	88	87	91	112

また、参考文献、図、表の入れ方を含む、文章のスタイルについては、ACM, IEEE, 情報処理学会, 電子情報通信学会などの学会が出版しているジャーナルや国際会議の論文のスタイルを参考にするとよい。

謝辭

参考文献